

第13回全日本ホルスタイン共進会の概要について

岡山県農林水産部畜産課

全日本ホルスタイン共進会は、社団法人日本ホルスタイン登録協会の主催により、我が国の乳用牛の資質の向上と改良増殖を推進し、酪農の安定的発展を目的に、各都道府県代表牛を一堂に集め、5年ごとに開催されています。

本県では、平成12年に児島郡灘崎町（現在の岡山市南区）において、第11回大会及び第3回全日本ジャージー共進会が開催され、出品牛50頭のうち最高位賞を含む入賞34頭が好成績を収め、本県乳用牛の改良の成果を全国に大いにアピールしたところです。

平成22年に開催される第13回大会は

我が国の乳用牛の半数を飼養する北海道での開催となり、開催規模は出品頭数420頭と過去最大となります。

本県では、昨年11月におかやま酪農業協同組合が主体となり、19関係団体の参加のもと、県出品対策協議会が設立され、出品対策に取り組んでおります。

酪農を取り巻く情勢は厳しい状況ではありますが、本共進会において優秀な成績を収めることができるよう、皆様大会に向けて盛り上げていきましょう。

<第13回北海道大会の概要>

- 開催期間 平成22年10月8日（金）～10月11日（月）
- 開催場所 北海道 ^{ゆうふつ} 勇 ^{あびら} 払郡 安平町
- 主催 （社）日本ホルスタイン登録協会・日本ジャージー登録協会
- 実行主体 北海道実行委員会
- 出品頭数 ホルスタイン種 380頭（うち後代検定枠60、高校等特別枠20）
ジャージー種 40頭
- 出品区分 ホルスタイン種 未経産6部 経産9部 計15部
ジャージー種 未経産2部 経産2部 計4部
- 県出品頭数 ホルスタイン種 12頭（うち後代検定枠2、高校等特別枠1）
ジャージー種 8頭 計20頭
- 本大会の特徴<第13回北海道大会の概要>

①名称及び品種について

ホルスタインとあわせてジャージー種牛の部を設け、ホルスタイン登録協会が主催し、名称を「第13回全日本ホルスタイン共進会」としている。

②後代検定娘牛の部の新設について

我が国の後代検定事業に対する理解を得るため、後代検定候補牛及び検定済牛の娘牛を対象とした部を、未經産に1部門、経産に2部門（計60頭）設けられた。

③高校等特別枠の新設について

共進会を通じて酪農に興味を抱くきっかけになるよう高校等教育機関からの出品枠（20頭）が設けられた。

④開催経費

既存施設（審査場、牛舎）の利用、催事の縮小により、前回の概ね1／3程度の予算での開催が予定されている。